

□キングダムLフロアブル(つづき)

*: 適用拡大申請予定

作物名	適用 雑 草	使用時期	適用土 壤	使用量	使用回数	使用方法	適用 地 帯
			砂壤土*～埴土 (減水深1.5 cm/日以下、 但し早期栽 培地帯は1 cm/日以下)				近畿・中国・四 国の普通期栽培 地帯及び早期* 栽培地帯
		移植後5～15日 (ノビエ2.5 葉期まで)	砂壤土～埴土 (減水深1.5* cm/日以下)				九州の普通期栽 培地帯

※ 各成分を含む農薬の総使用回数/テニルクロール2回・ベンスルフロンメチル2回・ピリプチカルブ2回

ジョイスター, ジョイスターLフロアブル

カフェンストロール・シハロホップブチル・ダイムロン・ベンスルフロンメチル水和剤

(取扱いメーカー) クミアイ化学工業株式会社

対象作物: 移植水稻

成分・作用特性: 本剤は永光化成株式会社が開発したカフェンストロール, ダウ・ケミカル日本株式会社が開発したシハロホップブチル, 株式会社エス・ディー・エス バイオテックが開発したダイムロンおよびデュボン株式会社が開発したベンスルフロンメチルを含有する白色水和性粘稠懸濁液体(フロアブル)の水稻用除草剤である。

カフェンストロールは雑草の茎葉基部, 根部から速やかに吸収され, 生長点の細胞分裂・細胞伸長阻害作用により, 雑草の生育を停止させ枯死させる。作用発現は速効的であるが, 効果の完成はやや遅効的である。

シハロホップブチルはノビエの茎葉部から素早く吸収され, 植物体内を移行し, アセチルCoAカルボキシラーゼの活性阻害により, 脂肪酸の合成を阻害すると考えられている。効果の発現は速く, 通常処理後1～2日でノビエの生

育を停止させ, 新葉より黄化・褐変後, 枯死させる。

ダイムロンは雑草の根部から吸収され, 主として根の細胞分裂・細胞伸長阻害作用により雑草の発芽～発生始期の発根抑制, 根伸長阻害および生育抑制により枯死させる。

ベンスルフロンメチルは雑草の根部, 茎葉基部および茎葉部から吸収され, 分岐鎖アミノ酸(バリン, ロイシン, イソロイシン)の生合成に関与するアセトラクテート合成酵素の活性を抑制することが解明されている。この結果, 植物の細胞分裂に不可欠な分岐鎖アミノ酸の生合成が阻害され, 体内のアミノ酸バランスが変動して雑草は生育を停止し, 枯死に至る。

特 長:

1. 散布の省力性

本剤の所定薬量は10アール当り500ml(ボトル1本)と少量であり, 散布器具を使わず畦畔からボトルのまま散布することができる。

また、フロアブルのため多少の降雨や風に関係なく散布できる。

2. 広い処理適期幅

発生前から3葉期のノビエに対して速効的殺草効果を発揮する。移植後3日または5日～ノビエ3葉期までの適用があり、移植後ゆとりを持って散布できる。

3. 広範囲の雑草に卓効

本剤はノビエをはじめとするホタルイ、ヘラオモダカ等の水田一年生雑草から、マツバイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ等の多年生雑草、またはクログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラ、エゾノサヤヌカグサ等の難防除雑草にも高い効果を示す。また、アオミドロ、表層はく離にも高い発生抑制効果を示す。

4. 長い残効性

残効期間が長く、薬剤処理後40日以上雑草の発生を抑制する。

5. 水稻に対する高い安全性

各成分とも水稻・雑草間の選択性が高く、優れた除草効果と高い安全性を兼ね備えた除草剤である。

6. 環境に対する高い安全性

水田への有効成分の投下量が少なく、土壤中および稲体中での残留の心配がないため、後作への影響も少ない。さらに、人畜、魚介類に対する毒性も極めて低く、環境に対する安全性が非常に高い除草剤である。

毒 性：

人畜毒性：製剤

投与経路	動物種及び性	L D ₅₀ 値
経 口	ラット(♂, ♀)	> 5,000 mg/kg
	マウス(♂, ♀)	> 5,000 mg/kg
経 皮	ラット(♂, ♀)	> 2,000 mg/kg

魚 毒 性：製剤

魚 種	試験薬剤	LC ₅₀ 値
コ イ	製 剤	18.5 mg/l (48 hr)
ミジンコ	製 剤	> 1,000 mg/l (3 hr)

使用方法：

ジョイスターフロアブルは移植後5日～25日(ノビエ3葉期)、ジョイスターLフロアブルは移植後3日～20日(ノビエ3葉期)までに10アール当たり500 mlを原液のまま湛水状態で散布する。

使用上の注意：

1. 使用前には容器を軽く振ること。
2. 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように散布すること。特に多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。

ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3 cmまで、アオミドロ、表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。

また、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な剤と組み合わせて使用する。

3. 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化作業、植付はていねいに行うこと。また、未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
4. 散布に当っては水の出入りを止めて湛水のまま田面に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を(水深3～5 cm)を保ち、

- 落水、かけ流しはしないこと。
5. 下記のような条件下では薬害が発生する恐れがあるので使用をさけること。
- ① 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田（減水深が2 cm/日以上）。
 - ② 軟弱な苗を移植した水田。
 - ③ 極端な浅植えの水田および浮苗の多い水田。
 - ④ 深水により葉身が流れ葉になったり、葉身が水没している水田。
 - ⑤ 植え穴の戻りが悪く、根が露出するような水田。
6. 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけること。
7. 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
8. 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意すること。
9. 本剤を散布した水田の田面水を他作物の灌水に使用しないこと。
10. 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

適用雑草及び使用方法：

□ ジョイスター-L フロアブル

（カフェンストロール+シハロホップブチル+ダイムロン+ペンシルフロンメチル=4.2+3.0+8.0+1.0%）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当りの 使用量	* 総使用回数	使用 方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、ミズガヤ ツリ、ヘラオモダカ （北陸）、ヒルムシ ロ、セリ、コウキヤガ ラ（九州の普通期）、 アオミドロ・藻類 による表層はく離（九 州の普通期を除く）	移植後3～20日 ノビエ3葉 期まで	砂 壌 土 ～ 埴 土 減水深2 cm ／日以下	500m ² ／	本剤のみ：1回 カフエンストロール ：1回 シハロホップブチル ：2回以内 ダイムロン ：2回以内 ペンシルフロンメチ ル：2回以内	原 液 湛 水 散 布	北陸、関東・ 東山・東海の 普通期栽培地 帯
			砂 壌 土 ～ 埴 土 減水深1.5 cm／日以内				近畿・中国・ 四国の普通期 栽培地帯 九州の早期及 び普通期栽培 地帯

* 印は収穫物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

尚、関東～四国の早期栽培及びクログワイ（近畿以西の普通期）への適用拡大申請中（平成9年12月18日現在）。

□ジョイスターフロアブル

(カフェンストロール+シハロホップブチル+ダイムロン+ペンシルフロンメチル=4.2+3.0+8.0+1.4%)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当りの使用量	* 総使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、エゾノサヤヌカグサ、セリ、ヒルムシロ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5～25日(ノビエ3葉期まで)	砂壤土～埴土(減水深2cm/日以下 但し、砂壤土は1.5cm/日以下)	500m/	本剤のみ：1回 カフェンストロール：1回 シハロホップブチル：2回以内 ダイムロン：2回以内 ペンシルフロンメチル：2回以内	原液湛水散布	北海道
	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、セリ、ヒルムシロ、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5～20日(ノビエ3葉期まで)	埴土～埴土(減水深1.5cm/日以下)				東北

*印は収穫物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。
尚、東北の砂壤土、クログワイ及びオモダカへの拡大申請実施予定(平成9年1月22日)。



アグレボ(AgrEvo)は、"Agriculture(農業)"と"Evolution(進化・発展)"が結びついてきた名前です。

作物にやさしく、
スギナも枯らす。



●作物にやさしいバスタ

バスタは作物体の他の部分に移行して影響が出たり、後にまで影響することはほとんどありません。

※バスタは非選択性ですので、作物の莖葉に飛散するとかかった場所に薬害を生じますので注意してください。

●なんでも枯らすバスタ

バスタはほとんどすべての雑草に効果できめん。スギナ、ツユクサなどの問題雑草にも優れた効果を発揮します。

●速く効く、長く効くバスタ

バスタは速く効いて、しかも長く効く。
「速く」長くという両方で満足できます。

●使いやすいバスタ

バスタは普通物、魚毒性はA類相当(原体)です。また、土壌微生物によりすばやく分解されるので、土や環境に影響の少ない除草剤です。

®:ドイツヘキスト社の登録商標

バスタ普及会 日本農業(株)/日産化学工業(株)〈事務局〉アグレボ ジャパン(株) 〒107 東京都港区赤坂4-10-33